

平成20年度 魅力ある活動支援事業 実施報告書

学校番号	75	学校名	梓川	高等学校
------	----	-----	----	------

事業目標テーマ

活力ある学校づくりのため、コース制授業の充実、総合学習における体験的活動の充実を図るとともに、一人一人の生徒の進路希望の実現に努める。

節別執行額

8	報償費	112,300	円	12	役務費	15,000	円
9	旅費(旅費システム)		円	14	使用料・貸借料	63,000	円
9	旅費(財務オンライン)	53,375	円	18	備品購入費		円
11	需用費	93,665	円		合計	337,340	円

有効性総合評価

- A: きわめて高い
- B: 高い
- C: どちらとも言えない
- D: 低い

事業内容		執行額(円)	実施内容(実施月)	生徒・保護者・地域住民・事業関係者等による評価	校長による評価	
					成果	課題
(1)	福祉コミュニケーションコースの充実 ① 社会人講師の活用 ② 大学見学・体験授業実施	68,745	① バルーンアートの習得(7月) 社会福祉援助技術特別講義、手話(10月---12月) 幼児教育読み聞かせ(10月) ② 松本短期大学見学体験授業(7月)	① 体験的授業について、生徒からの受講後の評価は良好であった。 ② 進路研究の一環として大学の模擬授業、キャンパス見学を実施。進路決定の参考になった参加生徒が多かった。	福祉コミュニケーションコースは本校のコース制の大きな柱であり、本事業は特色ある活動の1つとして有効であった。	本校の魅力づくりの一環として、一層の高大連携への研究が課題である。
			有効性総合評価	B		
(2)	総合的な学習の時間の充実	120,333	① 寄席文化を学ぶ(提灯作り)(6~9月) ② 地域文化との交流「アルプス太鼓をたたく」(6~9月) ③ 沖縄文化を学ぶ(6~9月) ④ 福祉体験学習(事前講習)(11月) ⑤ 福祉施設体験学習(就業体験)[1,3学年](12月)	・昨年に引き続き文化祭での発表を目標に研究実践してきたが、参加生徒の評価は高かった。また、地域への本校の活動を発信する効果があった。 ・地域との交流や就業体験学習の実践が、生徒から一定の評価を得ている。また、協力いただいている実施施設からも、良好な評価を頂くことができた。	本校の教育目標に沿った積極的な活動が、生徒や保護者、地域に評価されたことは成果であった。	定着した活動であるが、次年度以降メリハリのあたる継続的な実践が行われるかが課題といえる。
			有効性総合評価	A		
(3)	生徒相談の充実	6,200	① 生徒相談職員研修会の実施(9月)	① 特別支援教育への理解を深める有意義な職員研修が実施できた。	生徒の実態把握、適切な指導法研究のための職員研修会が有意義であった。	職員の研修機会を増やし、本校の生徒相談体制の充実を期したい。
			有効性総合評価	B		
(4)	性教育講話の実施	24,120	社会人講師の活用(性教育ワークショップ) 2学年4クラスに講師(計18名の信大医学部保健学科学生)を配置し講話・ワークショップの実施(12月)	【生徒の感想】 ・保健の授業よりも詳しい説明を受け、正しい知識を得ることができた。 ・性教育なんて必要ない、恥ずかしい、と思っていたけれど、大切なものだと思います。 ・子どもを生むということの社会的責任を実感した。	少人数グループによるワークショップが有効に機能し、多くの生徒に好評であった。	本事業も定着し数年を経たが、より一層効果的な方法、時期を検討したい。
			有効性総合評価	A		
(5)	LHR活動の充実	15,000	2学年における平和教育の実施 修学旅行事前学習における平和教育映画の上映(11月)	学習テーマを明確にし、修学旅行の目的を着実に理解させる効果があった。	総合学習における取組とも関連させながら、学年として統一的で効果的な指導ができるよう配慮した。	本校独自の実践ができるように工夫を凝らしていきたい。
			有効性総合評価	C		
(6)	進路指導の充実	102,942	① 進路体験報告会、進路講演会の実施(6月) ② 「進路のしおり」作成(3月)	① 本校卒業2年後の大学生、社会人の体験談とアドバイスを聞くことにより、自らの進路希望を実現させるための動機付け、目標設定に効果的な講演会であった。 ② 計画的な進路指導を行う上で、有効な資料として特別活動の中で活用されている。	キャリアガイダンスの一環として、自己の進路への動機付けと目指す職業への道筋を理解させるために有効であった。	各学年ごとの進路指導計画の充実がいつそう図られるようにしたい。
			有効性総合評価	B		
公表・説明			HPで公開するとともに、学校評議員、地域モニターへの説明(10月、12月)を行なった。	教育懇談会を開催し、地域モニターや学校評議員から「学校関係者評価」を受ける中で、本事業に対する一定の評価を頂いた。	・HPにて本校の活動状況を写真などで視覚的に紹介することが出来た。 ・地域住民からの本校教育活動への理解、支援も前進した。	学校評議員会、教育懇談会等での公表と同時に保護者への広報に力を入れた。